No. 2025-035

油圧・空気圧部会若手技術者懇談会

2025年12月25日

　（一社）日本フルードパワー工業会

空気圧部会長 　　妹尾　満

***２０２５年度 第2回 若手技術者懇談会開催のご案内　(油圧・空気圧部会合同)***

拝啓、時下益々ご清栄のこととお慶び 申し上げます。

本年度、第2回目の若手技術者懇談会を下記の通り開催いたします。

今回は、愛知県名古屋市西区にありますトヨタ産業技術記念館を見学し、その後、参加者による技術懇談会を実施いたします。トヨタグループ発祥の地において「モノづくり」の歴史と精神を伝える博物館で展示は主に、紡績・織機の進化をたどる「繊維機械館」と、自動車開発の歩みと製造技術を紹介する「自動車館」の2つで構成されています。当時の実機による動態展示や実演が豊富で、日本の産業近代化を支えた「研究と創造の精神」を五感で体感できる内容となっています。産業の原点に触れる「探求」と、次世代による「共創」を考えるための良い場となるのではないでしょうか。トヨタ産業技術記念館にてモノづくりの変遷と革新の精神を肌で感じ、技術者としての志を新たにし、その後の懇談会で、若手同士が自由な感性で語り合う場を提供します。例年、既成概念にとらわれない斬新な意見が飛び交うこの会は、参加者にとって大きな刺激となり、自社では得られない新たな視点を得る貴重な機会となります。将来の業界を担う若手技術者の皆様が、相互研鑽を通じて未知の可能性を拓くことを期待しております。

また、懇談会終了後、有志参加者の方々による懇親会を実施いたします。(別途参加費が必要です)

普段話すことのできない他社(工業会会員企業)の方々との懇談する貴重な機会です。是非ご参加をご検討ください。

記

**1.目的**

工業会会員企業の**若手技術者のスキルアップ**

**2.実施場所**

・見学会　トヨタ産業技術記念館

　　愛知県名古屋市西区則武新町４丁目１−３５

<https://www.tcmit.org/>

・懇談会　ウインクあいち(愛知県産業労働センター)　会議室にて

愛知県名古屋市中村区名駅４丁目４−３８

<https://www.winc-aichi.jp/>

**3.参加資格**

・日本フルードパワー工業会　会員企業(正会員，賛助会員)

・若手技術者の方または技術に係る関係者の方

(営業部門，製造部門等の方でも技術にご興味のある方ならば、どなたでも参加可能です)

**4.参加費**

見学会と技術者懇談会への参加費は無料です。

但し、トヨタ産業技術記念館への入場料金が1,000円/人かかりますので、各自でご負担願います。

また懇談会終了後、有志参加者による懇親会を開催いたします。懇親会は自由参加となりますが有料です。JR名古屋駅の駅前で開催いたしますが参加費用（約５，０００円）は当日懇親会の会場にて徴収させていただきます。(工業会より領収書を発行させていただきます)

**5.開催日時**

2026年2月20日(金)　・見学会及び懇談会　　　10:00～16:30 (昼休憩　12:00～13:00)

　　　　　　　　　　　　　・懇親会(有志のみ)　　 17:00～19:00

**6.参加人数**

定員25名まで　(定員となった時点で申し込み終了とさせていただきます)

**7.開催日の詳細**

7-1.集合時間及び場所　 9:50  トヨタ産業技術記念館　入口　図１参照

(詳細の集合場所は後日参加者に配信します)

7-2.見学会　　　　　　　　　10:00～12:00 各展示物での説明は、事前にスマホにアプリを入れて説明を

聞くことができます。

<https://www.tcmit.org/enjoy/audio-tour>

7-3.昼休憩及び移動　　　12:00～13:00 ウインクあいちの会議室へ移動

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　またその際に昼食を各自とってください

7-3.懇談会　　　　　 　　　13:00～16:30　 懇談会

7-4.解散(現地)　　　　　 16:30

7-5.懇親会(自由参加)　　17:30～19:30 懇親会は有志のみの自由参加(会費制)です。

(工業会より領収書を発行いたします)



図1　 トヨタ産業技術記念館　入口

**8.開催日までの流れ（詳細各種日程）**

8-1.参加申し込み　　(2/6まで)

8-2.事前アンケート回答　 (2/13まで)

(一つの表にまとめて、懇談会の当日の参加者の方々への参考にしていただきます)

8-3.若手技術者懇談会　(2/20)

8-4.事後アンケート回答 　(2/27まで)

**9.懇談会テーマ**

懇談会では、全体を4～5のチームに分けさせていただき各チームは下記の3つテーマの中から1つを選び、グループ内で懇談をしていただきます。

懇談会終了後、各グループより懇談結果を発表していただきます。

1. 伝達機構の進化とフルードパワーの「次なる役割」

　ポイント

・かつての機械式機構が、なぜ油圧・空気圧に置き換わったのかを再確認する。

・電動化が進む現代において、あえて「フルードパワーでなければならない領域」はどこか？

・「100年後のフルードパワー」は、機械のどの部分を支えていると思うか？

2. 「からくり」の精神を現代の省エネ・DXにどう活かすか

　ポイント

・センサーや電気に頼りすぎず、「流体の物理特性（圧力・流量）」だけを利用した

賢い制御（自律的な省エネなど）のアイデア。

・フルードパワーと最新のデジタル技術（AI・IoT）を組み合わせた、新しい

「モノづくりの自動化」の可能性。

3. 未来のモビリティとフルードパワーの「共存」

　ポイント

・EV化が進む中で、フルードパワー技術は「小型化・静音化・高効率化」の壁を

どう突破すべきか？

・「空圧・油圧×ロボティクス」\*\*といった、これまでの自動車の枠を超えた新しい

移動体や作業機械への応用アイデア。

・若手技術者として、将来「これを作ってみたい」という夢のシステム。

**10．申し込み方法**

　　別紙申込書(エクセルデータ)への記入の上、事務局へメールにて送信願います。

　　受付時の入力ミス防止のため、受付はE-mailのみとさせていただきます。

(FAX及びPDFデータでの受付は致しません。ご了承願います。)

**申込期限　2026年2月6日(金)まで**

敬具

事務局　　(一社)日本フルードパワー工業会

　　　　　第一業務部　大熊　正博

　　　　　E-mail okuma.masahiro@jfpa.biz

TEL 03-3433-5391